

# 十勝川中流部市民協働会議\_活動記録 (26)

## 第 12 回 十勝川中流部川づくり報告会

---

十勝川中流部川づくり報告会は、毎年 2 回行っています。今回は今年最後の報告会になりました。

主な報告内容は、以下の通りです。

- 日 時：平成 30 年 3 月 17 日（土） 10：00～12：00
- 参 加 者：80 名  
（内訳）帯広農業高等学校 水質環境研究グループ 4 名（1～3 年生）  
帯広工業高等学校 環境土木科 4 名（1～3 年生）  
河川管理者 帯広河川事務所及び治水課 10 名  
十勝川中流部市民協働会議メンバー等 25 名  
その他、一般参加者など 37 名
- 場 所：とがちプラザ 2 階 視聴覚室
- 報告内容：1. 開会挨拶  
2. 平成 29 年度 活動経過報告  
3. 帯広農業高校による相生中島地区湿地活動について  
4. 帯広工業高校による活動報告（全学年、クラブより）  
5. 工事経過及び今後の川づくりについて  
6. アシリチエプノミについて  
7. 今後の活動報告  
8. 講評  
9. 閉会挨拶



会場の様子

## 十勝川中流部川づくり報告会の発表概要

第12回の報告会は、当事務局和田氏の司会のもと、藤堂事務局長の開会挨拶から始まり、平成29年度の活動報告がされました。



司会の和田氏



開会の挨拶をする藤堂事務局長

事務局の活動報告は、橋本氏より全35回の活動発表があり、「年々活動が増えてきている状況を踏まえ、来年度も活動が増えることが予想されます。皆様のご協力をお願いします。」とのお願いがありました。

高校生による発表は、帯広農業高校の魚類調査について、帯広工業高校の1年生から3年生までの活動内容について、また、帯広工業高校3年生が今年からスタートした札内川の流木腐朽調査について発表がありました。



帯広農業高校の生徒達



生徒による発表の様子



帯広工業高校の生徒達



生徒による発表の様子



流木腐朽調査について発表した帯工 3 年生（曾我部さん）



工事経過報告する館野技官（帯河）

その後、河川管理者である帯広河川事務所の館野技官から「十勝川中流部川づくりワークショップの 9 つの論点箇所」について工事後の状況説明と今後の川づくりについて報告がありました。

来年度から活動を予定している「アシリチェブノミ」について、アイヌ文化などの説明と合わせてアイヌ協会ラムピリカ勉強会代表の笹村律子様より発表がありました。



アイヌ文化を説明する笹村様



来年度の活動予定を報告する紅葉氏

来年度の活動予定は、事務局の紅葉氏から概要説明があり、当事務局の活動メインとなる高校生との活動予定と、大きなイベントとなる「いい川・いい川づくりワークショップ IN 帯広」と十勝エコロジーパークで開催予定の「アシリチェブノミ」への支援活動について発表がありました。また、助成金やクラウドファンディングによる資金についての話がありました。

講評は、当事務局の顧問をお願いしております加賀屋先生からお話を頂きました。高校生による発表には毎年感心されており、今後更なる展開により新たな発見も期待していました。また、今後の活動としてアイヌ文化を取り入れることで新しい川づくりに展開するものと期待して頂きました。



加賀屋先生による講評の様子



最後に当会議代表の柳川先生から閉会の挨拶がありました。柳川先生も高校生の活動は、「大学生レベルの活動である」と感心していました。また、9月に開催される「いい川・いい川づくりワークショップ IN 帯広」は、大学としても協力をして、北海道の川づくりや北海道のいろんなことを知って頂けるよう頑張りたいとお言葉も頂きました。



閉会挨拶を行う柳川先生